

市内高校と行政との連携について

高校生との取組の課題と今後の方針について。

企画財務部長 これまで多様な分野や場所において、高校生と連携した取組を進めてきたが、高校生がより主体的に関わることが出来る機会を増やすことが課題である。特に、地域資源の魅力を生かした企画や、市内外へのプロモーション企画への

の参画などは、高校生ならではの柔軟な発想や発信力を活用することが出来る取組であると認識している。

今後の方針としては、高校生が参加したいと思えるような活動の企画立案と、気軽に地域づくりに参加できる「場づくり」に取り組んでいく。

市長の考えについて。

市長 高校生との連携事業への支援を継続し、高

校生ならではの新たな視点を生かした事業展開を通じて地方創生の更なる推進を図っていきたい。

また、連携事業に参加した高校生と地域社会とのつながりを育むことにより、卒業後の本市への定着や、将来的なUターンの土台となる郷土愛の醸成を図っていく。これらの取組を通じて、次代を担う若者に「住みたい・住み続けたい」と選ばれる、未来へつなぐまちづくりを進めていく。

酷暑対策について

冷水器の設置について。

教育部長 現在、冷水器が設置されている市内小中学校は結城南中学校と結城東中学校の2校で、いずれも市の予算で設置したのではなく、学校予算や卒業記念品として設置されたものである。また、教育委員会所管の公共施設については、現在は設置されていない。各小中学校への冷水器

の設置については、すでに冷水器が設置されている2校における管理運用面でのメリット・デメリットを検証し、維持管理経費を含む学校負担や教職員による衛生管理、児童生徒の安全性など、児童生徒数や学校規模等を踏まえ、慎重に検討していく。



高校生のヤングパワーを取り入れたまちづくりを!!

若者の意見や行動力はまちづくりに大切なことです。



平塚 明
(ひらつか あきら)

録画映像
はこちら

